



## 教育実習生インタビュー

松商学園高校は5月下旬から、同校を卒業した大学生の教育実習を21週間の日程で受け入れている。今回は22人の実習生が来校、教壇に立つ。そのうちの3人に、高校時代の思い出や実習の手応えを聞いた。

# 母校で授業に意欲



## 土居 亮祐 さん (21)

普通科文理進学コース卒業  
東京経済大学経済学部経済学科4年  
担当科目:現代社会、政治経済

# 松商学園は 自分の土台

―初めて高校生に授業をしてみよう  
現代社会と政治経済を教えています。自分が理解している内容でも、生徒に分かりやすく説明することは、思っていた以上に難しい。授業の準備を毎日必死でしています。

―高校時代はサッカー部で全国大会へ出場した  
東京出身で、高校はサッカーの強い松商学園を選びました。インターハイと高校サッカー選手権で全国大会に出場し、FWとして4大会で5得点を決めました。

―実習を振り返って  
東京出身ですが、教育実習をするなら母校の松商に行きたいと思っていました。実習は自分の勉強不足を知ると同時に、いい経験になっています。社会に出てさまざまな経験をして、人として成長していきたいです。

した。高校から親元を離れるという、自分にとって厳しい道を選び、松商でサッカーができたことは自分の土台になっていると感じます。

―実習を振り返って  
東京出身ですが、教育実習をするなら母校の松商に行きたいと思っていました。実習は自分の勉強不足を知ると同時に、いい経験になっています。社会に出てさまざまな経験をして、人として成長していきたいです。

# 授業の難しさと 楽しさを知る



## 遠藤 愛莉香 さん (21)

普通科総合進学コース卒業  
駒澤大学文学部英米文学科4年  
担当科目:英語

―実習をしてみよう  
象は  
教えることの楽しさと難しさを実感しています。休み時間など、声を掛けてくれる生徒も多く、楽しく授業ができています。真面目に授業を受けながらも、クラスの雰囲気もいいのが松商学園の特長です。

―将来の夢は  
教員または、教育関係の企業に進みたいと考えて就職活動をしています。今回の実習がいい経験になっているので、目指す道に向かって進んでいきたいです。

# スポーツの 楽しさを教える



## 松尾 亜紀子 さん (22)

普通科総合進学コース卒業  
日本体育大学体育学部健康学科4年  
担当科目:体育

―高校時代はバレーボール部で活躍した  
上田市出身で、女子バレーの強い松商学園に進み、3年の時には個人で国体の代表選手に選出されました。松商で3年間真剣に部活動に取り組めたことは本当にいい経験です。

―教育実習ではさまざまな種目を指導する  
自分の専門分野のバレーボールを教えるのは得意なのですが、体育の教員はバスケットボールやソフトテニスなど、あらゆる種目を指導します。それがなかなか大変で、授業の前には毎回それぞれの種目について一から勉強しています。

―実習を振り返って  
自分が学生時代部活に励んだ体育館で授業を教えるのは感慨深かったです。先生たちも実習を助けてくださり、とても勉強になりました。今回の経験を生かして将来進む道を決めたいと思います。